

報道関係者各位
プレスリリース

ホッピービバレッジ株式会社
調布市

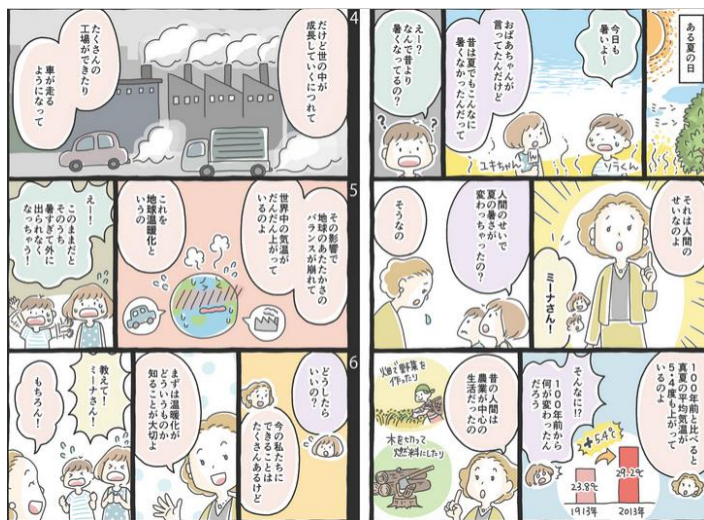
「HOPPY EARTH PROJECT」と「ゼロカーボンシティ調布」の連携に関する協定式のご案内

ホッピービバレッジ株式会社と調布市は、脱炭素社会、資源循環型社会、自然との共生の実現を目的とした連携協定の締結について、3月28日（金）にホッピービバレッジ株式会社（代表取締役社長・石渡 美奈）、調布市（調布市長・長友 貴樹）による連携協定式を開催します。

ホッピービバレッジ株式会社は、2022(令和4)年2月から、“小さくても、できることを。地球温暖化防止を、始めましょう。”をスローガンに、地球温暖化が及ぼす影響、個人が実践できる取組や自社の取組を46項目にまとめ、世界に発信するプロジェクトとして「HOPPY EARTH PROJECT」を展開しています。

調布市は、2021(令和3)年4月に市議会と共同でゼロカーボンシティを目指すことを宣言し、その実現に向けた取組を推進しています。

両者が連携して取り組むことにより、脱炭素社会、資源循環型社会、自然との共生を実現を目指します。



「HOPPY EARTH PROJECT」
冊子より

©ホッピービバレッジ株式会社

連携事項と主な取組

1. 脱炭素社会の実現に関すること
⇒「HOPPY EARTH PROJECT」（市に1000冊の冊子を恵与）を市の主催イベントや環境学習等に活用
2. 資源循環型社会の形成に関すること
⇒リターナブルびんの回収率向上によりリユース促進、環境に配慮した製品の普及啓発
3. 自然との共生に関すること
⇒多摩川における外来種防除活動など、生物多様性の保全、自然との共生に向けた活動
4. 1～3に係る市民・事業者への環境配慮行動の促進に関すること
⇒地域や学校での環境学習等の実施、ホッピーミーナの脱炭素経営セミナーの開催
5. その他「HOPPY EARTH PROJECT」と「ゼロカーボンシティ調布」の推進に関すること

連携協定式概要

日時 : 3月28日(金) 午前9時45分～

会場 : 調布市文化会館たづくり12階 大会議場
(京王線「調布駅」広場口から徒歩4分)

参加者 :



ホッピービバレッジ株式会社
代表取締役社長 石渡 美奈 氏



調布市
市長 長友 貴樹

ホッピービバレッジ株式会社について

HOPPY

1905(明治38)年に港区赤坂で創業, 1948(昭和23)年にホッピーを開発し製造販売を開始, 1970(昭和45)年に調布市多摩川に生産工場を新設移転し, ホッピーや調布びーる, 深大寺ビールなど全製品を調布市内で製造し, 全国に出荷しています。

ホッピーの容器は、製造販売当初から現在に至るまで”ガラスびん”で製造しています。ガラスびんは、地球の地殻に含まれる天然素材で作られているので、地球にやさしく環境を汚染しません。

飲食店で使用されているホッピーのリターナブルびんは、自治体の協力のもと回収されたのち、工場内で洗浄され、検査後に再び中身を詰めて製品として再使用(平均20回、5年程度使用)されています。

リユースすることで、その都度ガラスびんを製造する必要がなく、製造に要するCO2排出量の削減および、天然資源やエネルギーの節約、ごみ排出量の削減に繋がります。ガラスびんは3Rに最適の容器です。



※『月刊廃棄物』2月号～4月号で、ホッピーのリターナブルびんについて連載中!

リターナブルびん



調布工場
(調布市多摩川1-34-1)

「ゼロカーボンシティ調布」の実現に向けて

調布市
Chofu City

市内における二酸化炭素排出量の約8割は、住宅やビルなど建築物における化石燃料に由来するエネルギー消費に起因しています。2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ調布」の実現のためには、家庭や事業所における脱炭素化の促進が必要となっています。

市民や事業者等の多様な主体と連携・協働によるオール調布体制で、「ゼロカーボンシティ調布」の実現に向けた取組を推進しています。

本件についてのお問い合わせ先 : 調布市環境部環境政策課 高橋, 森
TEL : 042-481-7379 FAX : 042-481-7550 Mail : kankyous@city.chofu.lg.jp